

平成 22 年度秋田大学医学部附属病院
単独型歯科医師臨床研修プログラム

I. 臨床研修プログラムの名称

秋田大学医学部附属病院単独型歯科医師臨床研修プログラム

II. 研修管理委員会の名称

秋田大学医学部附属病院歯科研修管理委員会

III. 研修歯科医定員

5 名

IV. 研修期間

秋田大学医学部附属病院において 1 年間の単独型臨床研修を行う。

V. 施設の概要と運営の管理体制

施設名	秋田大学医学部附属病院
所在地	秋田県秋田市広面字蓮沼 4 4 番 2
臨床研修施設長 (研修管理委員会委員長)	病院長：溝井和夫
研修プログラム責任者	歯科口腔外科病院教授：福田雅幸
事務部門の責任者	事務部長：波塚章生

- 1) 研修歯科医は当院卒後臨床研修センターに所属し、本プログラムに沿った研修を行う。
- 2) 歯科医師研修管理委員会は、研修プログラムの作成、研修歯科医の管理及び研修歯科医の採用・中断・修了の際の評価等臨床研修の実施の統括管理を行う。

VI. 当該研修プログラムの特色

医学部の中の歯科口腔外科であるため、全身疾患を有する患者が多く、全身疾患を有する患者さんの歯科治療および全身管理に関する研修を多く経験できる。また、口腔外科的疾患のみならず、保存や補綴治療も研修できる。口腔外科研修では、特にインプラントや顎関節症の治療に関して系統的かつ集学的研修ができる。

VII. 臨床研修の一般目標

本院の歯科医師臨床研修の目標は、歯科医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度、技能及び知識）を身につけることである。日常診療で頻繁に遭遇する疾患に対応できる歯科医師を育成するための初期研修を行い、生涯研修の第一歩とすることである。

Ⅷ. 臨床研修の行動目標

一年間の研修において、個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、研修プログラムを自らが実践することで、基本的な歯科医療に必要な臨床能力を身につける。

1) 患者-医師関係

1. 患者，家族のニーズや問題を正しく把握し解決できる。
2. 医師，患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームドコンセントを実施できる。
3. 守秘義務を果たし，プライバシーへの配慮ができる。

2) チーム医療

1. 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
2. 上級および同僚医師，他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとれる。
3. 同僚及び後輩へ教育的配慮ができる。
4. 患者の転入，転出にあたり情報を交換できる。
5. 関係機関や諸団体の担当者と適切にコミュニケーションがとれる。

3) 問題対応能力

1. 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し，当該患者への適応を判断できる（EBM=Evidence Based Medicine の実践ができる）。
2. 自己評価および第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。
3. 研究や学会活動に関心を持つ。
4. 自己管理能力を身につけ，生涯にわたり基本的臨床能力の向上に努める。

4) 安全管理

1. 医療現場での安全確認を理解し、実施できる.
2. 医療事故防止および事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる.
3. インシデントおよびアクシデントを説明する.
4. 医療過誤について説明する.
5. 院内感染対策（Standard Precautions を含む）を理解し、実施できる.

5) 医療面接

1. コミュニケーション・スキルを実践する.
2. 病歴（主訴，現病歴，既往歴，家族歴）聴取を的確に行う.
3. 病歴を正確に記録する.
4. 患者の心理・社会的背景に配慮する.
5. 患者・家族に必要な情報を十分に提供する.
6. 患者の自己決定を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）
7. 患者のプライバシーを守る.
8. 患者の心身における QOL（Quality of Life）に配慮する.
9. 患者教育と治療への動機付けを行う.

6) 身体診察

1. 全身の観察（バイタルサインと精神状態の把握，皮膚や表在リンパ節の診察を含む）ができ，記載できる.

7) 臨床検査

病態と臨床経過を把握し，医療面接と身体診察から得られた情報をもとに必要な検査を指示し，専門家の意見に基づき結果を解釈できる.

1. 一般尿検査
2. 血算・白血球分画
3. 血液型判定・交差適合試験
4. 心電図
5. 動脈血ガス分析
6. 血液生化学的検査

7. 簡易検査（血糖，電解質，尿素窒素など）
8. 細菌学的検査・薬剤感受性検査
9. 検体の採取（痰，尿，血液など）
10. 簡単な細菌学的検査（グラム染色など）
11. 肺機能検査
12. 細胞診・病理組織検査
13. 超音波検査
14. 単純 X 線検査
15. 造影 X 線検査
16. X 線 CT 検査
17. MRI 検査
18. 核医学検査

8) 医療記録

1. 診療録（退院時サマリーを含む）を POS（Problem Oriented System）に従って記載し管理できる.
2. 処方箋，指示箋を作成し，管理できる.
3. 診断書，その他の証明書を作成し，管理できる.
4. 紹介状と，紹介状への返信を作成し，それを管理できる.

9) 症例呈示

1. 症例呈示と討論ができる.
2. 臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する.

10) 診療計画

1. 診療計画（診断，治療，患者・家族への説明を含む）を作成できる.
2. 診療ガイドラインやクリニカルパスを理解し活用できる.
3. 入退院の適応を判断できる（Day surgery 症例を含む）.

11) 経過評価管理

1. リコールシステムの重要性を説明する.
2. 治療の結果を評価する.
3. 予後を推測する.

12) 医療管理・地域医療

1. 保険診療を实践する.
2. チーム医療を实践する.
3. 地域医療に参画する.

IX. 修得すべき事項

歯科放射線の撮影および診断

行動目標

1. 口内法撮影の画像解剖とその適応, 歯科疾患の画像所見を説明できる.
2. パノラマ撮影およびセファログラフィの画像解剖とその適応, 歯科疾患の画像所見を説明できる.
3. 頭部X線 CT の画像解剖とその適応, 歯科疾患の画像所見を説明できる.
4. 頭部 MRI の画像解剖とその適応, 歯科疾患の画像所見を説明できる.
5. 核医学検査の画像解剖とその適応, 歯科疾患の画像所見を説明できる.
6. 胸部X線写真の画像解剖を概説できる.

チェックリスト

知識:

1. デンタルおよびパノラマ X 線写真からう蝕, 歯周炎が読影できる.
2. 顎骨嚢胞の歯科放射線学的所見の特徴を説明し, 鑑別診断ができる.
3. 良性腫瘍の歯科放射線学的所見の特徴を説明し, 鑑別診断ができる.
4. 口腔癌の歯科放射線学的所見の特徴を説明し, 鑑別診断ができる.
5. 顎骨の炎症の歯科放射線学的所見の特徴を説明し, 鑑別診断ができる.
6. 歯および顎骨外傷の歯科放射線学的所見の特徴を説明し, 鑑別診断ができる.
7. 上顎洞病変の歯科放射線学的所見の特徴を説明し, 鑑別診断ができる.

8. 顎関節疾患の歯科放射線学的所見の特徴を説明し、鑑別診断ができる。
9. 歯科インプラントの術前検査の読影法を概説できる。

技能：

- ①. デンタルX線写真を撮影できる。

口腔外科治療

行動目標

1. 口腔外科の基本的診療に関する知識、技能を修得する。
2. 顎、口腔の炎症性疾患の診断と治療を説明できる。
3. 顎、口腔、顔面の外傷性疾患の診断と治療を説明できる。
4. 顎、口腔、顔面領域の嚢胞性疾患の診断と治療を説明できる。
5. 顎、口腔に発生する腫瘍性疾患の診断と治療を説明できる。
6. 顎、口腔、顔面に発生する奇形・症候群の診断と治療を説明できる。
7. 顎変形症の診断と治療を説明できる。
8. 顎関節症の診断と治療を説明できる。
9. 周術期の管理を説明できる。

チェックリスト

知識：

1. 顎、口腔の炎症性疾患の種類を列挙できる。
2. 顎、口腔の炎症性疾患の治療法を説明できる。
3. 顎、口腔、顔面の外傷性疾患の種類を列挙できる。
4. 顎、口腔、顔面の外傷性疾患の治療法を説明できる。
5. 顎、口腔、顔面領域の嚢胞性疾患の種類を列挙できる。
6. 顎、口腔、顔面領域の嚢胞性疾患の治療法を説明できる。
7. 顎、口腔に発生する腫瘍性疾患の種類を列挙できる。
8. 顎、口腔に発生する腫瘍性疾患の治療法を説明できる。
9. 顎、口腔、顔面に発生する奇形、症候群の種類を列挙できる。
10. 顎、口腔、顔面に発生する奇形、症候群の治療法を説明できる。
11. 顎関節症を分類できる。
12. 顎関節症の治療法を説明できる。
13. 顎変形症の種類を列挙できる。
14. 顎変形症の治療法を説明できる。

技能：

- ①. 術野の消毒ができる。
2. 口腔粘膜および皮膚の切開と縫合ができる。
3. 粘膜の剥離ができる。
- ④. 抜糸ができる。
5. 頬，口唇，舌小帯整形手術ができる。
6. 口腔内切開排膿処置ができる。
7. ドレーンを留置できる。
- ⑧. ドレーンの除去ができる。
9. 口腔内の止血処置ができる。
- ⑩. 線副子を装着できる。
11. 顎間固定ができる。
12. 顎顔面外傷手術の介助ができる。
13. 抜歯ができる。
14. 拇指頭大以下の嚢胞摘出ができる。
15. 拇指頭大以上の嚢胞手術の介助ができる。
16. 口腔内病変の生検ができる。
17. 顎関節患者における咬合挙上用スプリントの調整ができる。
18. パンピングマニピュレーションができる。
19. 顎矯正手術の介助ができる。
- ⑳. 顎間ゴム牽引ができる。
- ㉑. 末梢静脈路を確保できる。
22. 気道を確保し，マスクによる陽圧換気ができる。
23. 輸液による適切な体液管理ができる。
- ⑳. 静脈血の採血ができる。
25. 胃管を挿入できる。
26. 膀胱留置カテーテルを挿入できる。
27. 術前後の呼吸，循環，体温の管理ができる。
- ㉒. 手術創の消毒ができる。
- ㉓. 開口訓練指導ができる。
30. 嚥下訓練指導ができる。

歯科麻酔

行動目標

1. 歯科局所麻酔法を身につける。

2. 歯科治療における精神鎮静法に対する理解を深める.
3. 歯科口腔外科患者の麻酔管理を通して、各種全身疾患に対する理解を深める.
4. 術前訪問を通して、麻酔管理上の問題点を整理する.
5. 適切な麻酔計画を立て、正確に報告する技能を身に付ける.
6. 全身麻酔における操作、手技の流れを理解する.
7. 歯科口腔外科患者の手術麻酔を通じて全身管理の基本である循環、呼吸、体液管理を理解する.
8. 歯科口腔外科患者の周術期の麻酔管理を通して、侵襲に対する生体反応を理解する.

チェックリスト

知識：

1. 歯科局所麻酔法に必要な解剖を説明できる.
2. 歯科局所麻酔薬の特性および副作用を説明できる.
3. 表面麻酔の適応、手技について説明できる.
4. 浸潤麻酔の適応、手技について説明できる.
5. 伝達麻酔の適応、手技について説明できる.
6. 歯科治療における精神鎮静法を具体的に説明できる.
7. 精神鎮静法に用いる薬剤の特性および作用機序を説明できる.
8. 精神鎮静法に用いる薬剤の副作用とその対処法を説明できる.
9. 各種バイタルサインの正常値および異常値を判断できる.
10. 各種検査値（血液検査、尿検査）の正常値および異常値を判断できる.
11. 動脈血ガス分析の結果を評価できる.
12. 麻酔管理上問題となる各種全身疾患を説明できる.
13. 静脈麻酔法および全身麻酔法を具体的に説明できる.
14. 麻酔前投薬の意義、投与経路、投与量を説明できる.
15. 麻酔管理に用いるモニターの種類と意義、特徴を説明できる.
16. 麻酔生理学（呼吸生理、循環生理、神経生理等）を説明できる.
17. 麻酔導入、維持、離脱時のバイタルサインの変化を説明できる.
18. 静脈麻酔薬、吸入麻酔薬の呼吸、循環器への作用を説明できる.
19. 血管作動薬、輸液等を用いた循環管理を説明できる.
20. 輸液による適切な体液管理を説明できる.
21. 輸液の種類、病態に応じた適応や投与量を説明できる.
22. 体温管理の意義と方法について説明できる.

技能：

- ①. 歯科表面麻酔を実践できる。
- ②. 歯科浸潤麻酔を実践できる。
3. 歯科伝達麻酔を実践できる。
- ④. バイタルサインを測定できる。
- ⑤. 静脈血が採血できる。
- ⑥. 末梢静脈路を確保できる。
7. 麻酔管理に用いる各種モニターを設定できる。
- ⑧. マネキンを用いて、マスクによる陽圧換気ができる。
- ⑨. マネキンを用いて、気管内挿管ができる。
- ⑩. マネキンを用いて、末梢動脈にカテーテルを挿入できる。
- ⑪. マネキンを用いて、輸液による適切な体液管理ができる。
- ⑫. マネキンを用いて、血管作動薬、輸液を用いた循環管理ができる。
- ⑬. マネキンを用いて、体温管理を適切に行うことができる。

救急処置

行動目標

1. 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明できる。
2. 歯科診療中の患者急変時に、迅速かつ的確に重傷度評価ができる。
3. 歯科診療中の患者急変時に、必要な検査および基本的手技を身につける。
4. 優先順位に応じた蘇生、病態の安定化ができる。
5. 各専門医に適切に紹介ができる。

チェックリスト

知識：

1. 歯科診療を行う上での服用薬剤が及ぼすリスクを説明できる。
2. 歯科診療に起因する全身的合併症への対処法を説明できる。
3. 歯科診療上問題となる各種疾患を説明できる。
4. バイタルサインの異常を説明できる。
5. 歯科診療中の患者急変時に必要な検査を列挙できる。
6. 歯科診療中の患者急変時に必要な基本的処置を説明できる。
7. ショックの原因およびその治療法を説明できる。

8. 血圧低下の原因およびその治療法を説明できる。
9. 意識障害をきたす疾患の鑑別ができる。
10. 呼吸困難をきたす疾患の鑑別ができる。
11. 一次救命処置（BLS）を説明できる。
12. 二次救命処置（ACLS）を説明できる。

技能：

- ①. バイタルサインを測定できる。
- ②. 静脈血が採血できる。
- ③. 末梢静脈路を確保することができる。
4. 歯科診療中の患者急変時に用いる各種モニターを設定できる。
- ⑤. マネキンを用いて、一次救命処置（BLS）を実施できる。
- ⑥. マネキンを用いて、二次救命処置（ACLS）を実施できる。
- ⑦. マネキンを用いて、マスクによる陽圧換気を行うことができる。
- ⑧. マネキンを用いて、気管内挿管することができる。
- ⑨. マネキンを用いて、末梢動脈にカテーテルを挿入することができる。
- ⑩. マネキンを用いて、輸液による適切な体液管理ができる。
- ⑪. マネキンを用いて、血管作動薬、輸液を用いた循環管理ができる。

歯科保存治療

行動目標

1. 歯および歯周組織の疼痛に対する鑑別ができる。
2. う蝕の診断と治療ができる。
3. 歯髄疾患の診断と治療ができる。
4. 歯周疾患の診断と治療ができる。
5. 歯科保存治療における治療計画を立案できる。

チェックリスト

知識：

1. う蝕の進行度を診断し、説明できる。
2. 修復処置を選択し、説明できる。
3. 象牙質知覚過敏症の病態、臨床症状を説明できる。
4. 急性歯髄炎の病態、臨床症状を説明できる。
5. 慢性歯髄炎の病態、臨床症状を説明できる。

6. 急性根尖性歯周炎の病態，臨床症状を説明できる。
7. 慢性根尖性歯周炎の病態，臨床症状を説明できる。
8. 辺縁性歯肉炎の病態，臨床症状を説明できる。
9. 辺縁性歯周炎の病態，臨床症状を説明できる。
10. 定期検診の重要性を説明できる。

技能：

- ①. 歯の疼痛に対して投薬ができる。
- ②. 象牙質知覚過敏症の処置ができる。
- ③. う蝕罹患歯質の除去ができる。
- ④. 覆髄ができる。
- ⑤. 窩洞形成ができる。
- ⑥. 修復物の装着ができる。
- ⑦. レジン充填ができる。
- ⑧. 修復物の脱離と破損に対して適切な処置ができる。
- ⑨. 抜髄ができる。
- ⑩. 感染根管処置ができる。
- ⑪. 根管長測定ができる。
12. 根管充填ができる。
- ⑬. プラークコントロールができる。
- ⑭. PMTC ができる。
- ⑮. スケーリングができる。
- ⑯. 咬合調整ができる。

態度：

1. 歯科保存治療の計画を立て，患者にインフォームドコンセントをできる

歯科補綴治療

行動目標

1. クラウンの設計と治療ができる。
2. ブリッジの設計と治療ができる。
3. 義歯の設計と治療ができる。
4. 歯科補綴治療における治療計画を立案できる。
5. 審美的治療法を理解できる。

チェックリスト

知識：

1. クラウンの種類を列挙できる。
2. 全部鑄造冠による治療について具体的に述べる。
3. 硬質レジン前装冠による治療について具体的に述べる。
4. 硬質レジンジャケット冠による治療について具体的に述べる。
5. ブリッジによる治療について具体的に述べる。
6. 義歯の種類を列挙できる。
7. 部分床義歯による治療について具体的に述べる。
8. 全部床義歯による治療について具体的に述べる。
9. 定期検診の重要性を説明できる。
10. 審美的治療について説明できる。

技能：

- ①. 支台築造ができる。
- ②. 支台歯形成ができる。
- ③. クラウンの印象採得ができる。
- ④. クラウンの咬合採得ができる。
- ⑤. 暫間冠の作製と装着ができる。
- ⑥. クラウンの調整，装着ができる。
7. 欠損補綴に対する診断ができる。
8. 義歯の設計ができる。
- ⑨. 義歯の印象採得（個人トレーによる精密印象を含める）ができる。
10. 義歯の咬合採得ができる。
11. 義歯の試適ができる。
12. 義歯の調整，装着ができる。
13. 義歯や維持装置の不適合に対して調整ができる。
14. 義歯や維持装置の破損に対して修理ができる。

態度：

1. 歯科補綴治療の計画を立て，患者にインフォームドコンセントできる。

小児歯科治療

行動目標

1. 小児患者の口腔内を診査し，適切に治療方針を決定できる。
2. 小児患者の口腔衛生状態を改善し，維持できる。

3. 乳歯・幼若永久歯のう蝕の特性を理解し、治療できる。

チェックリスト

知識：

1. 小児患者への適切な対応について説明できる。
2. 口腔衛生管理の意義、必要性を説明できる。
3. 乳歯・幼若永久歯のう蝕の特性を説明できる。
4. 全身疾患を有する小児への対処法を説明できる。

技能：

- ① 小児の口腔内診査ができる。
- ② 小児の口腔衛生指導ができる。
3. 乳歯・幼若永久歯のう蝕治療ができる。
4. 小児の抜歯と投薬ができる。

矯正歯科治療

行動目標

1. 顎顔面形態・不正咬合を診査、診断し、治療方針の立案ができる。
2. 基本的な矯正治療の知識、技術を習得し、治療できる。

チェックリスト

知識：

1. 顎顔面の成長発育について説明できる。
2. 顎顔面形態・不正咬合の状態を説明できる。
3. 顔面軟組織の診査項目を列挙し、説明できる。
4. セファロ分析の方法を説明できる。
5. 主な不正咬合に対する治療方法を説明できる
6. 矯正装置を列挙し、その適応を説明できる。

技能：

- ① 顔面軟組織を診査し、分析できる
- ② セファロ分析ができる。
- ③ 模型分析をできる
- ④ 問題点を抽出し診断、治療計画の立案ができる。

歯科技工

行動目標

1. 保存修復物の製作ができる。
2. ク라운の製作ができる。
3. 義歯の製作ができる。
4. 矯正装置の製作ができる。
5. 顎関節症用スプリントの製作ができる。
6. 睡眠時無呼吸症候群スプリントの製作法を理解できる。

チェックリスト

知識：

1. 保存修復物の製作過程を説明できる。
2. 支台築造の製作過程を説明できる。
3. 暫間補綴物の製作過程を説明できる。
4. 全部鑄造冠の製作過程を説明できる。
5. レジン前装冠の製作過程を説明できる。
6. 総義歯の製作過程を説明できる。
7. 部分床義歯の製作過程を説明できる。
8. 顎関節症用スプリントの製作過程を説明できる。
9. 顎関節症用スプリントの種類を列挙できる。
10. 睡眠時無呼吸症候群用オーラルアプライアンスの種類を列挙できる。
11. スリープスプリントの製作過程を説明できる。

技能：

- ① 印象に石膏の注入ができる。
- ② 作業用模型の製作ができる。
- ③ 作業用模型の咬合器装着ができる。
- ④ 分割復位式模型を製作できる。
- ⑤ 保存修復物のワックスアップができる。
- ⑥ 支台築造のワックスアップができる。
- ⑦ ボクシングができる。
- ⑧ 個人トレーの製作ができる。
- ⑨ 咬合床の製作ができる。
- ⑩ ワイヤークラスプの屈曲ができる。
- ⑪ 顎関節用スタビライゼーションスプリントの製作ができる。

地域医療

行動目標

1. 地域歯科保健活動を説明する。
2. 歯科訪問診療を説明する。
3. 歯科訪問診療を体験する。
4. 医療連携を説明する。

以上○は、研修歯科医が単独で行ってよい行為

X. 研修歯科医の募集

1. 研修プログラム 秋田大学医学部附属病院単独型歯科医師臨床研修プログラム
2. 研修期間 1年間
3. 募集人数 5名
4. 応募資格 次のいずれにも該当する者
 - ①第103回歯科医師国家試験を受験する者
 - ②マッチングシステムに参加する者
5. 応募書類
 - ①平成22年度秋田大学医学部附属病院研修歯科医申込書
 - ②卒業（見込）証明書
 - ③成績証明書
6. 応募方法
 - ①上記応募書類を一括して応募期間内に提出してください。
郵送の場合は必ず「簡易書留」とし、封筒表面に「研修歯科医募集書類在中」と朱書きしてください。
 - ②応募期間：平成21年10月1日（木）まで（必着）
7. 選考方法
 - ①面接試験
 - ②筆記試験
 - ③試験日：平成21年10月8日（木）まで随時
なお、試験日については応募者と相談のうえ決定する。
8. 処 遇
 - ①身 分：非常勤職員
 - ②給 与：月額 約26万円
臨床研修手当を含む（時間外およびオンコール研修手当相当）。
 - ③勤務時間：8：30～17：15
 - ④時間外勤務：あり
 - ⑤当 直：オンコール体制（3回/月）

- ⑥休 暇：有給休暇 10日
- ⑦宿 舎：なし
- ⑧保 険：政府管掌健康保険，厚生年金保険，雇用保険，労災保険
- ⑨健康管理：健康診断 年1回
- ⑩医師賠償責任保険の扱い：病院において加入
- ⑪外部の研修活動：学会，研究会等への参加：可（費用負担：なし）

9. 見 学 病院見学は随時受け付けています。

見学希望者は、歯科口腔外科医局（中田）まで電話または e-mail で連絡してください。

Tel：018-884-6188 E-mail：nakatakr@med.akita-u.ac.jp

10. 問合せ先および応募書類提出先

〒010-8543 秋田市広面字蓮沼44番2

秋田大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター（医学部総務課内）

Tel：018-884-6233 Fax：018-834-8619

E-mail：kenshuu@hos.akita-u.ac.jp